

保守省力型ポイントガードの開発

及川祐也 吉田眞 柳川秀明 岩佐裕一 柳沢有一郎 佐古武彦

トンゲレールの摩耗が著しい分岐器や基準線の曲線半径の小さい内方分岐器のポイント部には、ポイントガードを設置することとしている。しかし、ポイントガードが設置されている分岐器では、ポイント部の保守・点検に際してガードレールの撤去・復旧作業が伴うため、通常のポイント部と比較して多くの時間と労力を要している。

そこで、小人数かつ短時間でガードレールを作業範囲の外方へ移動させることが可能な移動機構を提案し、さらに現行のポイントガードに改良を加え、保守省力型ポイントガードを開発した。ガードレール移動時に使用する装置は、ポイント部の保守・点検時のみ取り付

けるもので、分割可能で軽量であるため人力により容易に運搬することができる。また、ポイント部の床板に支柱が取り付け易いように加工が施されており、取り付けおよび取り外しの際にほとんど工具を使用しないため、設置が容易である。

(鉄道総研報告, 2007年6月)

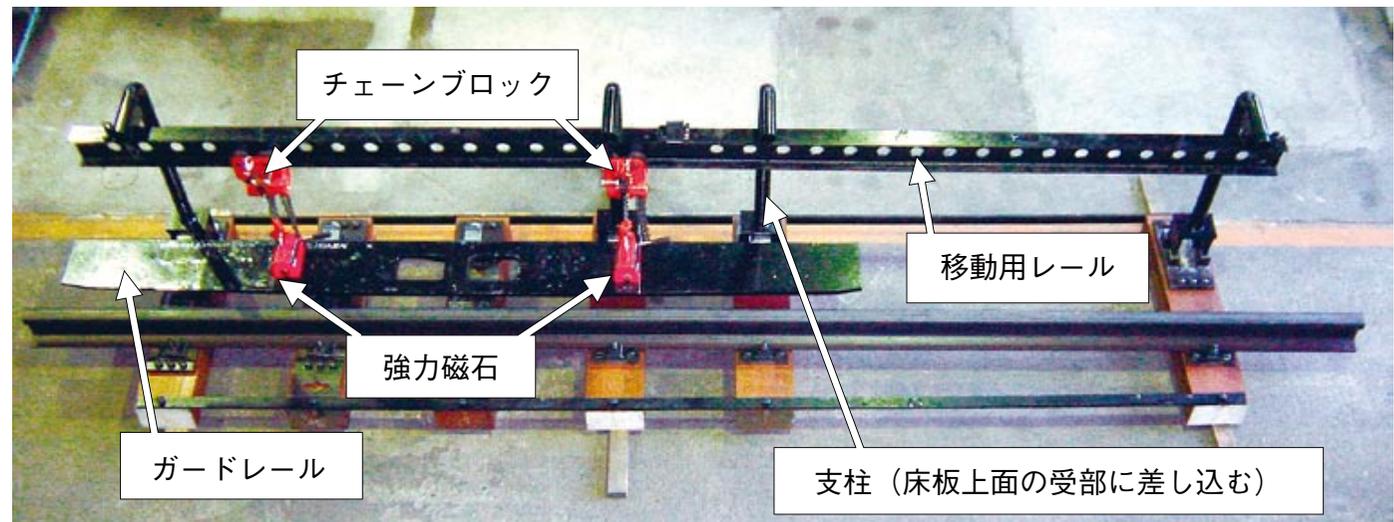


図 移動機構設置時の保守省力型ポイントガード